

第4回 江東未来会議

(第1分科会：子育て・教育分野)

次 第

日時:平成19年11月28日(水) 午後7時00分～9時00分

場所:文化センター2階 旧区政PRコーナー

- 1 開会
- 2 事務局からの連絡事項
- 3 本日のワークショップの進め方について
- 4 ワークショップ
 前回の振り返り
 将来像の内容及び取り組みの方向性の検討
- 5 その他
- 6 閉会

(配付資料)

第3回江東未来会議 議事概要

第3回江東未来会議 子育て・教育分野(統合版)

望ましい将来像の内容及び取り組みの方向性の検討

望ましい将来像の内容及び取り組みの方向性の検討

1. 本日の目標

将来像の具体的内容と取り組みの方向性について検討し、将来像を文章化します。

2. プログラム(案)

時間	項 目
19:00	<u>オリエンテーション(配布資料の概要、本日の進め方)</u> <u>前回の振り返り</u>
19:15	<u>将来像の内容及び取り組みの方向性の検討</u> ・グループでの話し合い&案づくり 80分程度 (適宜休憩)
20:40	・全体会議(各グループの案の発表&意見交換) 20分程度
21:00	<u>振り返り、次回の検討</u>

3. 進め方(案)

(1) 望ましい将来イメージを実現する上での課題の振り返り

事務局で作成した「問題・現状認識」「解決の方向性」「課題」の整理案について、全員で確認していきます。これに基づき、本日の検討に入ります。

(2) 将来像の内容及び取り組みの方向性の検討

グループ討議(3グループに分かれて進行します)

- ・グループ内でグループ討議の進行役を決めて頂き、司会の方を中心にグループ全員で討議してください。
- ・討議の結果は模造紙に直接記入するかポストイットに記入して模造紙に貼付するなどにより、必ず記録を残してください。
- ・これまでと同様に記録に残したい事項は個人がポストイットに書いて添付することを基本としますが、別途書記役を決め、討議の中で出た重要と思われる意見は、書記役の方が模造紙やポストイットに記載してください。
- ・「問題・現状認識」「解決の方向性」「課題」について、現在のまとめで不足している意見がありましたら、ポストイットに書き出し、模造紙に貼りこんでいきます。
- ・実現したい将来像の具体的内容(「何がどのような状態になっている姿」をめざすの)が明確となるように、わかりやすい表現を検討し、文章化します。

全体会議(取りまとめ)

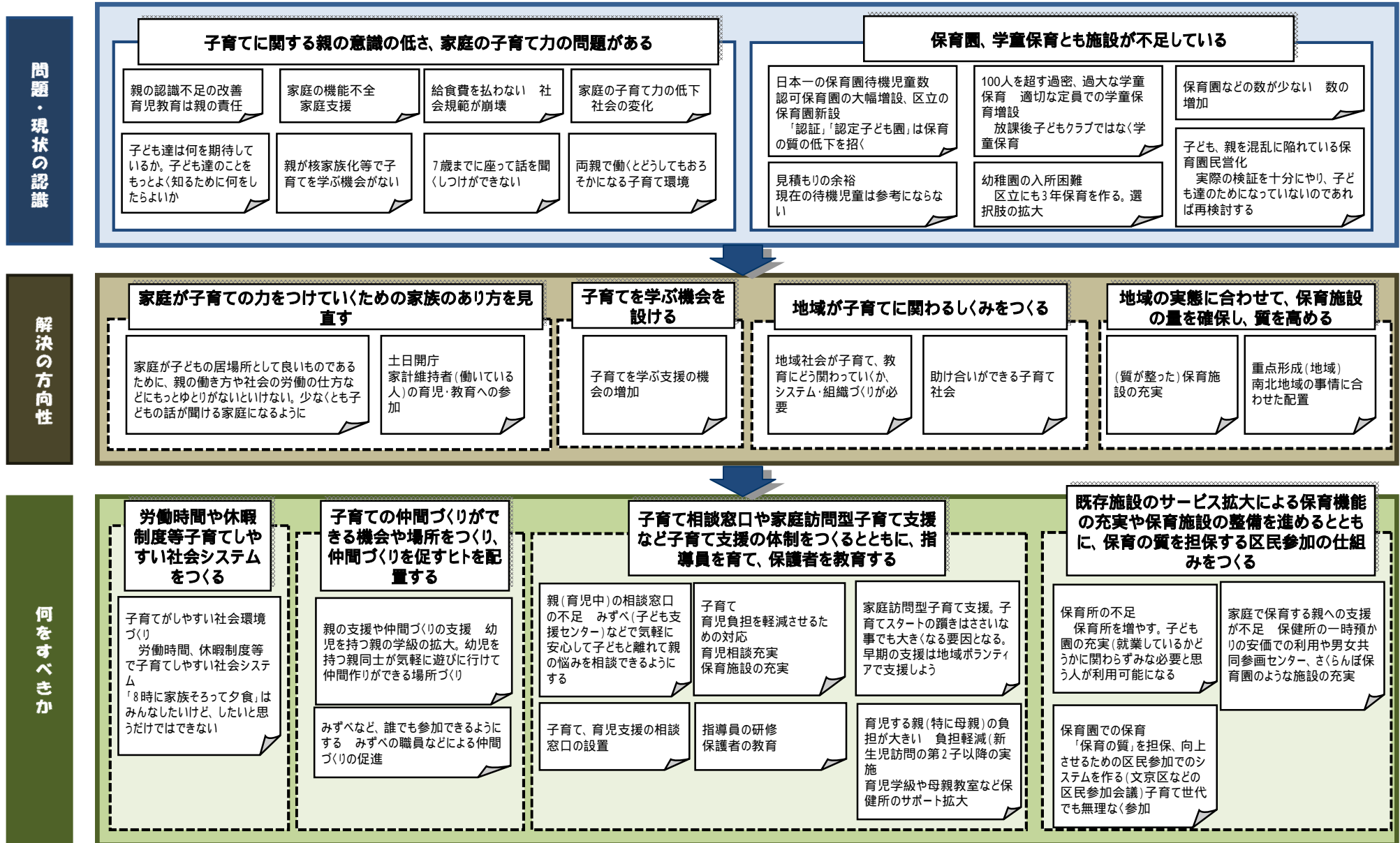
グループの案を紹介してもらい、共通項があれば統合します。

4. 次回の検討事項

将来像と取り組みへの方向性を踏まえて、重点課題を選び、それに対して区や区民・事業者の取り組みの役割分担と具体的な事業の検討を行います。以上

第3回 江東未来会議 子育て・教育分野（統合版）

子育て - 「親」「家庭」「保育園」



教育 - 「教育体制」「体験学習」

問題・現状の認識

<p>親の教育に対する意識格差や経済格差が子どもへの教育に影響を与える</p> <p>親の経済力による平等な教育の実践の阻害はこれからの10年間で表に現れてくるので公的な補助が必要</p> <p>教育に熱心な親と昼間子どもをあずかってくれるだけでも助かるという親との温度差は大きすぎる</p> <p>所得格差が教育格差につながっている</p>	<p>区内の学校同士が交流し、情報交換する場がない</p> <p>教育に関して区内の地域によって違いを感じる。統一する必要はないが、意見交換などの場がない 交流の場</p>	<p>教師の権威低下、知識教育の偏重、体験学習不足など学校教育が弱体化している</p> <p>目的意識のない学校教育</p> <p>知識教育の偏重</p> <p>先生が尊敬されない 大人(親)がしていない、子どもも真似をする</p> <p>学校、学びの貧弱化</p> <p>体験学習の不足</p> <p>子育てで体験不足 授業に取り入れる</p> <p>スウェーデン等ヨーロッパの義務教育制度は日本とどこが違うか学びたい</p>	<p>土曜日の学校開校に伴う教師確保は財政面での負荷が大きい</p> <p>世の中の流れは週休2日制になっているので、土曜日、休日の学校での教育のためには教師の増加は避けられない。区の税金でまかなえるか</p>
--	---	---	--

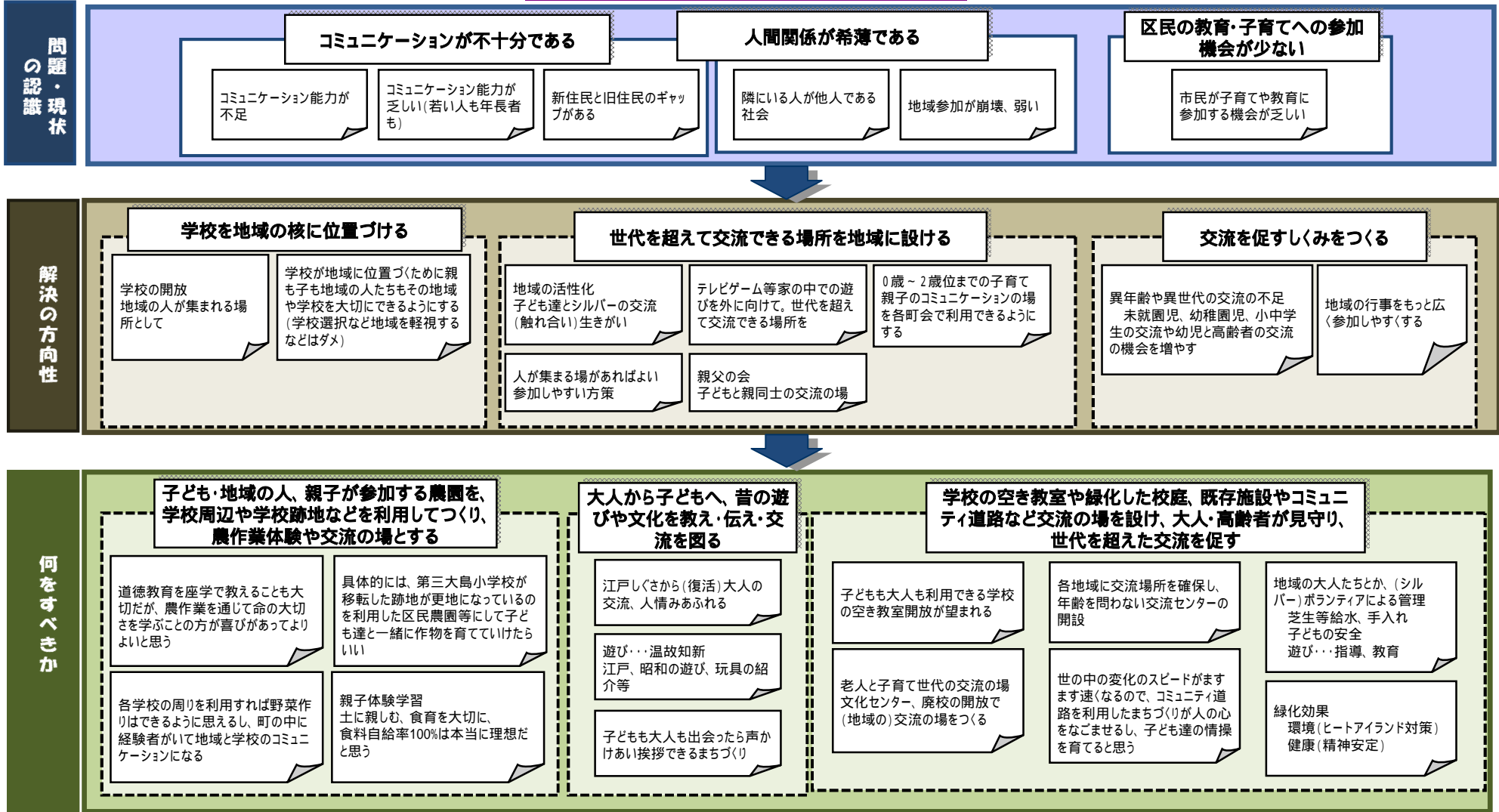
解決の方向性

<p>幼稚園と保育園の格差をなくす</p> <p>幼稚園と保育園の格差をなくす (どちらが良いか)</p>	<p>基礎的の学力をつけるとともに、子どもの個性に合わせ、創造性を発揮して自主的な学習ができる公教育の充実を図る</p> <p>公教育の充実 (予算の配分増)</p> <p>学力の重視 自立を助ける基本</p> <p>個性に合わせた教育 幅広い基準で伸び伸びと教育</p> <p>学校教育 教える教育主体から自分でテーマを決めて学び、互いに議論できるような教育が望ましいと思う</p> <p>子どものときから忙しい。ストレス多い子ども。子ども自ら学びたい気持ちにそった教育づくり</p> <p>競争教育でなく、個性を大切にしつつ、基礎的な力を身につけられるようにする。そのために経済的格差を行政でフォローできるように</p> <p>学校にゆとりと個性がうまれるように自由・創造が生きる行政のあり方が望ましい</p>	<p>しつけ・道徳教育のための家庭や教育機関の連携を図る</p> <p>道徳、躾、家庭と保育、学校との連携</p>	<p>体験教育や地域の歴史・文化を学ぶことなどを通じて豊かな心を育む</p> <p>子どもの体験教育 (ボランティア体験)</p> <p>家庭の子育てで豊かな心の育成、歴史と文化を知ることで人を育てる</p>
--	--	--	---

何をすべきか

<p>教育・躾を立て直すために親教育を進める</p> <p>学校の地域対策(不良躾対策)我が子可愛さからか全(無理解な親、苦情ばかりで学校を悩ます親指導(対策)をする専任を持たないと</p>	<p>幼稚園での生活習慣の体得、学校における学力習得のための教育体制を整える</p> <p>幼稚園を3年間に生活習慣を身につける補助</p> <p>豊かに学べる学校 少人数学級の充実 小さい学校を廃校にせず大事にする</p> <p>学校での授業が充実するために協力しあい(助け合っ)て学べる学級(人数を30人以下にする。様々な能力の子どもと一緒にいる)にする</p> <p>選択肢のたくさんある教育カリキュラム 語学・体育・珠算</p>	<p>農山漁村自然体験の機会をつくる</p> <p>地方で触れあえる環境を体験する機会をつくる 砂浜や森・山</p> <p>小学生が農山漁村に長期滞在して体験活動を行えるよう国が補助金を出すとのことですから大いに体験学習をすべきである。受け入れ先は一般家庭が望ましいので県市町村にあたり協力を。。</p>	<p>多様な体験学習、情操教育、コンピューター学習などを取り入れる</p> <p>幼稚園から絵本、本に関心を持ち 情操を向上させる</p> <p>コンピューター等近未来必要性が高まるものを重視</p> <p>小中学生にもっと音楽や美術など心豊かになる授業を充実させる</p> <p>乳幼児と子ども達の交流教育の場に赤ちゃんと交流の時間を 総合的な学習の時間</p> <p>子どもの多種多様な体験の不足 子どもに農業体験をさせたり、親の働く姿を見せる機会をつくる</p> <p>学校教育に体験学習を取り入れる 校舎を増やしていく 自分の将来像</p>	<p>特別支援学級の区設置などによる特別支援教育の充実を図る</p> <p>増加する特別に支援を必要とする子どもへの教育 特別支援学校の新設(臨海部) 特別支援学級の新設</p>
--	---	---	---	--

子育て・教育の基盤としての地域社会



子どもの安全な遊び場・居場所の確保

